

おふとんユタニさんイラスト募集！！ VOL.3は4月発行予定

イラスト 募集！！

おふとんユタニさん VOL.2



応募方法

募集期間：R3/2月8日～R3/3月12日

①公式ラインにご登録ください

LINE

②「おふとんユタニさん」をテーマにイラストを描いてください。



③公式LINEに書いたイラストの写真もしくはスキャナ画像を送信ください。

④弊社で審査の上掲載となります。



すっきり会



すっきり会は不登校・行き渋り・五月雨登校の子供を持つ保護者やそんな子供達を応援していただける方のための会です。毎月第2土曜日の午後に集まり、同じ悩みや思いを共有し、お互いにたまったものを吐き出すことにより、次に進める原動力になればいいな。という思いで活動を続けています。

LINE



発行：SPACE TWEEDIA

所在地：〒600-8491 京都府京都市下京区鶏鉾町48013階

メール：spacetweedia@gmail.com

電話：050-7117-1760



WEBはこちら 



「見える」「という事

視力が良ければ眼がいいと言えるのか？視力が良くても書き写事が苦手だったり球技が苦手だったりすることもありますよね。では、そもそも視えるというのはどういう事でしょうか？
 視えるとは3つの要素から成り立ちます(左図)。
 単純に黒板をノートに写すだけでも、写す箇所に目でピントを合わせる(入力)、頭の中で文字や言葉の意味を認識する(処理)、指をイメージ通りに動かしてペンで直線や曲線を用いて文字を書く(出力)という、これだけの事を一瞬で行わないと視えたことにはならないのです。



言い換えると、眼の筋肉が硬く見たいところが見れないのか、見た情報が頭の中で違った認識になっていないか、正しくペンを握り線を真っ直ぐ引けるのかという事になります。
 実例では、おかあさんという単語を母では無くお、か、あ、さ、ん、とただの1文字として認識してしまったがために、理解ができず考えているうちに授業が終わった、手が思うように動かさず枠からはみ出てしまいゆっくり書いているうちに授業が終わってしまったという事まであります。
 トレーニングはただ単にやれば良いというものではなく、3要素のどの部分が苦手なのか？あるいは得意なのか？を見極めながら行う必要があります。



活動の記録

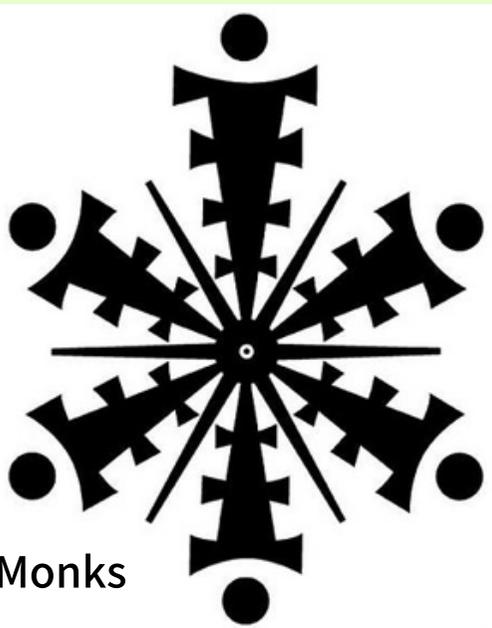
「大谷園林保育園様にてグループトレーニングを行いました」

社会福祉法人 大谷感恩会大谷園林保育園様でグループトレーニングを行いました。
 集中力を高めるトレーニングや脳を刺激する事を中心に、ボールや絵を使って4種類のメニューを行いました。
 終わった頃には「え〜もう終わり?」「もっとやりた〜い」といった、ありがたい子どもたちの感想を聞きながらお別れをしました。子どもたちのエネルギーと笑顔にとても元気をもらった1日でした。



「身体健康イベント開催!」

眼、意識、姿勢、体幹の4人の専門家が集結し大人子どももスッキリして頂くためのイベントを開催いたしました。
 社会人〜生後2ヶ月のお子様まで幅広い年代の皆様にご参加いただき、新しい出会いも生まれ、人と人との会話から生まれるアイデアや学びに感動しました。
 コロナ禍で外部との繋がりに抵抗感のある子どもたちにとってのリアルな関わりは本当に大切だと改めて感じたイベントでした。



縁をなぞる



原典：Tibetan Lama Monks

チベットホイール

姿勢を正し、上図の縁を首を動かさないうように、眼だけで時計回りに1周なぞる。

追従性眼球運動 をきたえる

追従性眼球運動は跳躍性眼球運動(詳細はおふとんユタニさん<@>をご覧ください)と同じ眼球運動の1つです。
 追従性眼球運動は特に基礎的な動きであり、線や文章をなぞる動きになります。
 活字を読む習慣が少なく、スマホで眼を動かさず画面を動かす日々、どうしても意識せずにはなぞる動きは鍛えられません。
 この動きが苦手だと、文字を読むスピードが遅かったり、漢字や図形などの構造を掴む事が難しかったり、動作が大きくなるため非常に疲れやすくなったりします。
 このチベットホイールは、眼の基礎筋力を鍛える追従性眼球運動のトレーニングとしては、オススメです。
 1日1回定期的にやってみましょう。

